


 塩冶
地区

第88号

社会福祉協議会便り

編集・発行 塩冶地区社会福祉協議会 事務所 塩冶コミュニティセンター内 TEL 21-0248
 塩冶社協ホームページ <http://enyashakyo.skr.jp/>

～ 塩冶地区高齢者福祉大会 ～

平成29年9月18日（月）、大型台風18号が日本列島縦断という予報に心を痛めましたが、出雲では大きな被害もなく、当日は秋晴れの好天に恵まれ、「塩冶地区高齢者福祉大会」を塩冶コミュニティセンターにて盛大に開催することができました。

大会には塩冶地区で90歳の卒寿を迎えられた方5名の出席をいただき、「ことぶき園」「きいちご倶楽部」「特養天神」のみなさん21名、来賓として塩冶自治協会の板倉重安会長ほか7名、大会に小さな花を添えてくれたひまわり第2保育園の園児たち、地区社協理事や福祉委員と総勢約200余名の参加により、賑やかに行われました。

開会のことばの後、全員で「塩冶賛歌」の斉唱や塩冶地区社会福祉協議会中尾会長の挨拶があり、続いて自治協会の板倉重安会長より「地区住民みなでこうしてお祝い出来ることは大変に喜ばしいこと・・・」等のお言葉をいただき、地区の話題もいろいろ聞かせていただきました。その後中尾会長より卒寿を迎えられた方々一人一人に長寿のお祝いが手渡されました。

式典のあとのお楽しみは「アトラクション」です。



まずはひまわり第2保育園の園児による劇、「大きなカブ」です。おじいさんをおばあさんが引っ張り、孫が・・・？ 途中からはぞうさんやきりんさん、くまさん・・・。保育園のクラスみんなでカブを引っ張り、やっと抜けました！ 会場のみなさんも拍手喝さい、子どもたちの笑顔に元気をもらいました。

次は昨年結成された「あげそげ塩冶福祉座」の演劇です。福祉委員の有志10名、自分たちでストーリーから小道具まで一つ一つが手作りです。

今回は「水戸黄門の世直し道中」。還付金詐欺や架空請求、電子マネーといったことを題材に、出雲弁に踊りも加えて、面白おかしくの演技です。

みなさん真剣に、また出雲弁でのやりとりには大笑いしながら聞き入りました。「おかねの話にのらない！」「だれかに相談する！」「不審な電話は切る！」で劇を締め、その後は「東京五輪音頭」に合わせたの健康体操を行いました。

最後は金本智子さんのピアノに合わせて「懐かしい歌をみんなで合唱」です。「青い山脈」や「幸せなら手をたたこう」ほか数曲を皆さん一緒に大きな声と身振りで歌い、また間には金本智子さんのピアノ独奏もあり、とても楽しむことができました。約2時間の楽しいひと時、今年も無事に終わることができました。（取材：広報広聴部）



7月13日(木)、大正海上ふれあいサロン会をドレミホールにおいて、参加者26名で「家庭における省エネ」と「エネルギーについて」の二部構成で開催しました。

第一部は中国電力、出雲営業所の熊野晶夫氏による「家庭における省エネ」をテーマに電球をLED化した時や、空気の熱を利用して効率よくお湯を沸かすエコキュートが省エネ効果で電気代の節約になる等・・・、身近なお話が聞けました。



第二部は中国電力、島根原子力本部の吉岡孝志氏による国内のエネルギー事情や模型を使った発電の仕組みについて資料を見ながら拝聴し、忘れないうちにメモを取り、今後の参考にしたいと思いました。

省エネについて、早速LED電球の交換を検討したいといった意見があり、セミナーの効果があったことをうれしく思いました。(理事 田中昌典)



今後の主な行事を紹介します！

皆さまのご協力とご参加をお待ちしています。

- 10月15日 児童福祉綱引き大会
- 11月初旬 高齢者「いいいの集い」
- 2月中旬 第2回和食交流会(一人暮らし)
- 社協だより 89号、90号の発行

※各地区ではサロン会を行っています。気楽にご参加ください。

6月19日(月)、JAしまね塩冶支店において27名の参加で第1回サロン会を行いました。今回はファーマシー薬局神前店から4人の方に来ていただき、薬のお話と相談、「骨密度測定」「体組成測定」を実施しました。



田中 崇薬剤師の「くすりの上手なつきあい方」の講演では、薬が効く仕組みや薬の飲み方についてのお話のほかに「知っていそうで知らない薬の常識」をクイズ方式にして分かり易くお話しいただきました。薬を飲む前にコップ一杯の水を飲むというのは、早速実践している一つで、胃を痛めないそうです。また心がけたいことは、

- お薬手帳を一本化して薬と病気の履歴を管理する。
- 相談できる「かかりつけ薬局」を決めておくこと。

これが緊急のときや複数の病院を受診するときに役に立つことを教えていただきました。

その後の田中さん、高田浩三薬剤師さんへの個人相談では、お薬手帳を持参してじっくり話ができたことで、相談された皆さん安心の表情でした。



また、かかとの超音波検査による骨密度測定、体脂肪や筋肉量、基礎代謝量を測定する体組成測定では、実年齢より10歳以上も若い診断年齢が出て喜ぶ人や期待外れの結果に不本意そうな人と、会場はワイワイガヤガヤと活気づいていました。最近言われる高齢者の「筋力」ですが、数値に示されるとあらためて日々の運動の必要を感じさせられます。

その後の昼食会でも測定結果の話をしながら、こうした健康測定や指導を継続して受けたいという声があがり、健康づくりへの雰囲気盛り上がりしていました。ぜひ継続していきたいと思っています。

(理事 周藤由紀子)

半分 サロン会

「豆腐作り体験」 出来立てほやほやを味わう!

9月12日(火)、第2回ふれあいサロン会を半分集会所において、参加者17名で開催しました。



先生は半分の元福祉委員の吉川明義さん、豆腐づくりのコツをいろいろ指導していただきました。大豆を前の晩から水に漬け、当日は参加者が交代で、まずは大豆をミキサーで水と一緒によくすりつぶします。つぶし終わったら、大きな鍋に入れ、焦げないように木ヘラで混ぜながら煮ます。



キッチンが狭いために集会所の駐車場でマキを焚いて行われたこともあり、なかなか煮え上がりませんでした。さらに工程は続き・・・、手間隙かけて安全安心な美味しい豆腐が出来ました。

最後は指導していただいた吉川さんを囲んでの昼食会となりました。市販の豆腐とは全然違う、舌触りのしっかりとしたボリューム、なんとも言えない甘みとコク。言葉では表現できません。間違いなく生まれてから一番美味しい豆腐でした。



お土産に、まだ温かい「おから」を頂き、ホクホク顔でサロン会に参加して良かったと喜んでいただきました。
(理事 飯國文雄)

◆ 日本文化体験の集い ◆



6月30日(金)の16時30分～17時30分、塩冶コミュニティセンター集会室を使用して、外国にルーツのある児童を対象に、「日本に昔からある遊び」を体験して楽しむ集いを青少年育成部の主催で行いました。

昨年度も同様の集いを開催しましたが、参加してくれる児童が少なかった事を反省に、現在毎週金曜日の放課後に塩冶小学校で活動されているNPO法人エスぺランサにご協力を仰ぎ、金曜日の放課後に開催しました。

お陰様で児童18名と保護者14名、エスぺランサ職員の方9名と沢山の方に参加していただくことが出来ました。



また昨年に引き続き、準備から当日の児童への指導などに塩冶百寿会世代間交流部の10名の方々の心温かいご協力を得て楽しい一時を過ごすことが出来ました。

児童たちの楽しそうな笑顔、そして元気に遊ぶ姿を見て、私たち大人も元気とパワーをもらい、一緒に楽しませて頂きました。

ちなみに遊びの内容は、ゴム銃遊び、折り紙(紙ヒコーキ、紙風船、兜)、ゴム跳び、羽根つき、コマ回し、そして七夕飾りも作りました。



最後に改めて、NPO法人エスぺランサの職員の皆様、塩冶百寿会世代間交流部の皆様に心から感謝しお礼申し上げます。

(青少年育成部 坂本裕二)



ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(7月1日から9月30日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名	故人名	区域名	寄附金額

※ 掲載欄の — は、掲載を希望されない方

***** 編集後記 *****

今年の夏はいつも以上に天候不順だったように思います。そして全国で台風やゲリラ豪雨によりかなりの災害や被害が多発しています。ちょうど高齢者福祉大会の前日は台風 18 号が四国を通過、幸い出雲では大きな被害もなかったのですが・・・島根県で特に大きな災害といえば昭和 58 年 7 月の島根県西部豪雨です。たくさんの方が亡くなられ、住宅被害も甚大でした。当時見た現地の惨状には「水の力とはこれほど巨大なものなのか・・・」と絶句した記憶があります。

災害だけでなく事故もけがも起こらないことが一番ですが、自らの体調も含めて、日頃から何があっても対応できるように心がけておきたいものです。それにはまず、自力で身体が動くこと、いつでも自ら良い判断が出来ることです。日頃の健康が第一、毎日しっかり食事と睡眠を取りたいものです。(理事 古瀬勝彦)

この「地区社協便り」は、出雲市社会福祉協議会からの助成金を財源の一部として発行しております。

◆◆◆愛友会だより◆◆◆

9月10日(日)、少し汗ばむくらいの好天に恵まれ、「愛友会」の皆さん10名(内 車イス 3名)、社会福祉協議会理事8名(内 福祉委員2名)、計18名、車に各自、分乗して神門梨園へ梨狩りに出かけました。



定められた枠内で梨をもぎ取るのですが、「隣のバラが赤く見える」と同じ例えて「他の棚にぶら下がっている実が大きく見えるね!!」とみんなでワイワイ・ガヤガヤ楽しくお喋りしながら決められた数を収穫・・・。



昨年は「20世紀」でしたが、今年は「幸水」です。水分も充分、甘くてとてもおいしい梨でした。

帰りはしまね花の郷で梨狩りに行けなかった車イスの3名と合流し、梨を分け合って解散でしたが、広報公聴部2名と福祉委員2名が残り、愛友会の人たちと花の郷に入館し、真っ赤なサルビアや色とりどりのコスモスが盛りの初秋の庭園を散策してみました。途中の休憩室でいろいろな話をしたりとさわやかな半日を満喫出来たようです。(広報公聴部)



【お詫びと訂正】

第87号2頁の見出しと本文4行目に「戦争被害者追悼・平和祈念式」と記載していましたが、正しくは「戦争犠牲者追悼・平和祈念式」でしたので、お詫びして訂正いたします。